

『日経WOMAN』

1999年10月号から転載





インタビューは4時間以上になった。2人の関係と家族の問題に思い悩んだ時期のことを語る時は、2人ともしきりに目をしばたいていた

でも彼は、どんなに周りの議員から批判されても「もっと公正に、オープンに党運営を」と発言して、ついに役職を解かれるまで夫面に立ち続けたんです。

分とか20分するしあげられる。ちょっとカワイソウに思った人が、「彼が言つことにも、もっともな面がある」とかばってくれたりもするんですが。それが4ヶ月続きました。畑 普通だったら、胃に穴が空く。なのに飄々としている。私は表面上は結構強気で、少しぐらい責められ

ても、ビクともしないように思われがちですが、実はもろい。叩かれると、グシャって潰れるタイプです。でも彼は多分、全然ないよね？ 畑 いや、内心は大変(笑)。しかし、わりと立ち直りというか気持ちの切り替えが早いんですよね。人よりは。 特別、気分転換の方法があ

るわけじゃないんですけどね。畑 同時にいろいろなことを並行してできるタイプだからかしら？ 仕事をしながら、テレビを見て、おつまみをつまみながら、本も読んで(笑) 4つくらいできるんですよね？ 畑 4つはできない(笑)。3つかな。受験生の時は、テレビをつけて

畑 その頃は、政務次官という立場で、かなり緊張した日々を送っていたので、そんなふうと思う余裕がなかったですね。畑 私自身は実は悩み多い時期でした。これだけの席に座らせてもらっている意味は何なのだろうかとか常に自問自答していました。自分のような若い女性にキャスターを任せてくれたのだから、何かその期待にこたえられるよう、これまでのNHKとはひと味違う自分らしいニュースにしたい。話題になった「15秒コメント」も、そうした思いをスタッフが汲み取ってくれて、実現した企画でした。

互いの第一印象は… 「誠実な優等生。でも不思議な清々しさを感じました」(畑) 「若いのにえらいなど。特にファンというわけではなかったですが」(船田)

勉強して、で、何かもうひとつ…。

あ！プラモデル作ってたんだ。

畑 変なの！(笑)。とにかく、意志が強いというか、ガンコというか…

その場での損得より、何が正しくて、筋が通っているか。それを優先させるというところは、2人とも共通しているんですが。

キャスター畑恵と

船田政務次官の接点は？

編集部 船田さんは畑さんにどんな印象をもっていましたか？畑さんが24歳という歴代最年少で、NHK「7時のニュース」のキャスターを務めていた当時、船田さんは30歳そこそこで政務次官でいらした。

船田 正直言って、あまり印象にはいんです。ただ、「7時のニュース」を、うら若き女性が仕切っているというの、大変なことだなあと。ファンというほどではなかったですけど、「頑張ってるな」と思っていました。

編集部 かわいいな、とかは？

編集部 でもNHKの看板番組でしたから、そう生やさしい仕事じゃなかったですよ。

畑 プレッシャーはすごかったです。自分としてはキャスターになる前と後で、何も変わっていないのに、周囲の目が違う。ご近所の方から「出世なされて」なんて言われるかと思えば、マスコミに意味もなく、かわられる。キャスターの自分が、いつの間にかひとり歩きしているように、アイデンティティーの危機感さえ感じました。

船田 でも、キャスターとしての畑恵とそのまの畑恵を、何とか融合しようとして戦っていた。単に言葉だけではない、自分自身の何かを出したい、その悩みが伝わってきた。そういう意味で当時「頑張ってる」と思った。

畑 ありがとうございます。

世渡りは自分も下手
でも彼女はもっとと下手

編集部 船田さんも、25歳という当時の最年少で衆議院議員になられた。そういう意味では似たような体験をされたのでしょうか？

船田 周りは全部、おじいさん、おじさん、という年齢の人ばかりですから、大変なジェネレーションギャップがありましたね。とにかく、20代の頃は、目立ちたくない、と思っていました。だから7年後に自分より若い国会議員が誕生した時は、ほっとしました。

編集部 ところが39歳でまた史上最年少の国務大臣になってしまつた。

船田 経済企画庁長官を突然指名された。実は割と早い段階で、そういう話は流れていたんですが、私の前に大臣になるべき人が同じ派閥にいたんです。だから先輩議員で大臣だった人に、「今回は私を大臣にするのは助弁してくれ」と、頼みましてね。そういう逆陳情は、初めてだつて、その先生も驚いていた。ところが、当時の宮沢総理には、馬の耳に念仏で(笑)。TVで船田元経済企画庁長官と発表されているのを見て驚いた。

編集部 順番を飛び越えているんですから、当然やつかみもあつた。

船田 まあ色々あつて、結構大変な半年でした。もちろん、与えられたチャンスを生かすべく、就任してからは全力を尽くしました。ただ、そういう意味で、不思議なんです。2人の境遇をあわせてみると、試験ともいえる立場にほんと置かれて、それをチャンスに変える経験を何度もしている。

編集部 畑さんはバリ留学から帰つてから、新進党の参議院比例区で立

船田元

53年 宇都宮生まれ。
祖父は衆議院議員、父親は栃木県知事
79年(25歳)
慶応義塾大学経済学部、文学部を卒業後、25歳の最年少で衆議院に初当選

83年(29歳)
慶応義塾大学大学院社会学研究科修士修了

85年(31歳)
総務政務次官に。33歳で文部政務次官に。「緊張の日々でした」(船田)

92年(38歳)
宮沢内閣の経済企画庁長官に。史上最年少の国務大臣。「先になるべき人がいたから、今回は助弁してくれとお願ひしていたのですが」(船田)

93年(39歳)
経済企画庁長官を就任から約半年で辞職し、自民党を離党する。「宮沢内閣崩壊の引き金をひいた1人」と言われる
新進党結成に参画

この年の8月に細川護国閣内閣が発足

94年(40歳)
新進党結成に参画。米国『タイム』誌で「21世紀を動かす世界の100人」に選ばれる。日本人では五嶋みどりさんと2人だけだった

この年、細川内閣が総辞職し、4月に羽田孜内閣、6月に村山富市内閣が発足

96年(42歳)
9月・鳩山由紀夫氏と組んで「鳩船新党」結成かと取りざたされるが実現しなかった。新進党を離党

97年(42歳)
1月 自民党へ脱党
99年(45歳)
4月・宇都宮市長選で支援した福田繁一が当選

注) 年齢はその年の誕生日以降のもの

畑 恵

62年 東京生まれ。
84年(22歳)
早稲田大学文学部卒業後、NHKに入局。
86年(24歳)

「7時のニュース」キャスターに最年少で抜擢される。「無難にやるより自分らしくと言ひ聞かせていた」(畑)

87年(25歳)
スタッフとの話し合いで始まったニュースの合間の「15秒コメント」が話題になる

89年(27歳)
NHKを退局してフリーに。民放の複数の報道番組のメインキャスターに。「自分が本当にやりたいことは何なのかを思い悩んでいた時期」(畑)

91年(29歳)
EC(現EU)の招聘でバリ留学を決意。「さまざまなものを捨て去ることで、本当に人生にとって大切なものは、ほんのひと握りしかないと気づきました」(畑)

95年(33歳)
新進党より参議院比例区選挙に立候補し、初当選。名簿順位16位は事前の約束よりずっと下で、完全に当選圏外だったため、「神風が吹いたと思えません」(畑)

96年(34歳)

11月・新進党離党

12月・自民党へ

候補する時も、試験がありましたね。名簿順位が16位と低く、当選は不可能と思われた。

畑 責任者の小沢一郎さんに直接5位以内と固く約束されて出馬を承諾しましたから……。説明を求めても「わかつて欲しい」ばかりで……。船田 普通だつたらもう辞退ですよ



ホテルでのインタビュー中、オレンジジュースが運ばれてくると、船田さんがごく自然な動作で全員分のストローの紙を破って、カップにさしてくれた。そのあまりの動作のす速さに、一同「あ…す、すいません…」と言うのがせいっぱい

「最年少記録」カップル

「NHKキャスター時代は悩み多き時代でした。自分がそこにいる意味を常に自問自答していました」(畑さん)

「最年少の衆議院議員(周りは全部、おじいさん、おじさんばかりで、大変なジェネレーションギャップがありました」(船田さん)

ね。でも彼女は辞めなかつた。しかもみんなが「当選は無理だ」と思っている中で、全力であちこち応援に歩いたんです。当時の新進党の衆議院議員たちで、「頑張ってるよね」と話してた。

畑 …自分自身に問いかけてみたんです。「当選すると思つたから選挙

に出たのか？」と。「そうじゃないよね、自分がジャーナリストとして批判しかしていなかった政治の世界に身を投じて、ほんの少しでも世の中を変えていく力になれば、と思つたんでしょ」と。ならば、傷つ

たんです。

船田 それがまさに、キャスター時代の彼女に対する私の印象の延長なんです。何かのために自分を役立たない気持ちで常にあつて、がむしゃらになる。私も、世渡りが下手なところもありますが、彼女はもっと下手。国会には器用な人が多すぎま

すから、彼女の不器用さはむしろ貴重です。

編集部 畑さんの方は？船田さんを尊敬していた？憧れていた？

畑 順風満帆のサブフレッド議員が、かつてのボスであるあの小沢一郎さんに公然と物申している。どんな人物なのか、関心はありました。

船田 もつとおとなしくしてれば、大臣を2回か3回やってるんじゃないか？ ってよく言われます。自民党を飛び出して、戻ってきて、そして今回のこの一件。もつたいたいじゃないか、と。でも、失敗したとか損したとか、全然思ってません。大臣を何度やってても、自分がよかれと思つたことを言えないなら、意味がない。大臣になりたいから、ものを言わないなんて、性に合わない。ただ、こんなこと言つて、「大臣になりたくないんだな」と思われるの

も、困りますけど（笑）。
政治家としての同志から
人生のパートナーへ

編集部 ふたりの恋愛の経緯にもその生き方が貫かれていますよね。何でそこまでするんだ？ もしかして純愛？ でも、政治家だから、何か計算があるんだろう。…そんなふう

煙 本心に正直言つて、男女という感覚があんまりないんです。何か最初から家族というか身内といった感じで、むしろそれまで別々にいたことの方がよほど不自然に感じたというか…。離れ離れになっていた自分の片割れにやっと出会えたという、何にも代え難い安堵感がありました。

船田 彼女とは、政治の仕事に限らず、文化的なこと、好きな歌や好きな絵画まで、非常に価値観が共通していたんです。政治家だつて、政治が人生のすべてではないわけですか

煙 95年末の新進党首戦の時です。初めて一緒に仕事をしたのは。彼が選挙対策本部の役割割りをして、夜遅くまでしてました。私はすごく奇異に感じて、「そんな形式的なことより、一刻も早くみんなが実際の活動を始めるべきじゃないでしょうか」って言ってしまったんです。でも何事も縦社会の政治の世界ですから、年次などに応じた役割がついて、初めてみんな動きだすんですね。私はいわば、永田町の常識中の常識」を知らなかった。でも彼は、新参者の私の言葉をバカにするどころか、とても真剣に受け止めてくれ、「あなたの言う通りですね」と、むしろ自分に非があるといった口ぶり

で対応してくれたんです。



「パリに留学した時、雲が美しいって初めて感じました。キャスター時代は、空を見上げる余裕もなかった」という畑さん。天文学者を目指したこともあった船田さんが、「パリの空がきれいな理由」を気象学的に説明していた

船田 われわれの感覚でいえば、選挙対策本部の名簿ができたら、選挙は半分終わったという感じなんです。だから彼女に言われたことはショックでした。自分では大事だと思つてやっていたんですから。でも、考えてみればそのとおりなんです。「永田町ではこうなんだ」という言い方は彼女には通じない。理屈が通つてとことん納得しないと、だめな人だから。

畑 ただ、政治家としてすごく尊敬しているだけに、私たちの個人的な関係が、彼を傷つけて、政治的な活

道も妨げる危険性があることは悩みました。もちろん私の政治家としての活動も大きく制限されますし、遠くで見守るとか、個人的な感情を押し殺すことをすれば、すべてが丸く収まることはお互いによくよくわかっていました。でも、もしそれをしたら、自分が人間として存在している中で、最も根源的なもの、最も大切になっている何かを裏切り、ふみにじることになってしまう。

自分を欺いて生きることが死ぬよりつらいことですし、特に私のように、世の中に何を言われようと、自分の信じる道を、駆け抜けてきたタイプの人間にとっては、文字どおり致命的でした。

でも、だからと言って、自分たちの思いを貫いてよいのだろうか。特に彼の子供たちに対する影響を考えると、何をあいても、絶対に迷惑をかけるべきじゃないと幾度も思いました。そして、選挙区の方々、彼が経営する学校の方々、私たちの家族、2人を支え、期待してくださっているすべての方たちに対して、も

どんな時に相手を「好きだなあ」と思う？
「自宅でTシャツに短パン姿でくつろいでいる時かな」(畑さん)
「好きなことをやっている時が一番輝いているから、それが見たいですね」(船田)



した。「すべては天が決めてくれる。私たちはただ真面目に精いっぱい、一日一日を生き抜こう」。そうした結果、夫婦になりましたから、個人的な幸せというより、まず天命というべき2人の仕事をまっとうしてご迷惑をかけた方々や励ましてくださった方々に恩返しをしなければというも思っています。

なぜ今までマスコミに何も話さなかったか

船田 マスコミからは徹底的にたたかれましたよね。事実と違うことも書かれました。私は、逃げ隠れるつもりはありませんでしたが、話をして、歪曲して書かれるのが嫌だったので、あまりものを言わずに、今日まで来たんです。

…人の人生というのは、自分の気持ちに忠実に生きて、その結果として、決まるものと思うんです。外側から、あなた方は、こうしなければいけない、と決め付けられるものではない。人それぞれ、価値観も人生観も違う。自分の人生は自分で選ばなきゃいけない。そういう気持ちで、今日まで生きてきました。

よく、周りの方々が、私をバカ正直だ、とか、今まで通りのふたりの関係でうまくいくのであれば、それでいいじゃないの？とアドバイスをしてくれました。でも、私は、そ

ういう話には、最初から嫌気がさしていた。それでうわべだけはうまくいくかもしれません。でも、自分の心に正直じゃない。自分の気持ちのどこかを削って、どこかを妥協させて、不安定な均衡状態を保っているだけ、そういうことで人生を送るのはよくないと。

ただ、政治家は必ず選挙の洗礼を受けなければなりません。次の選挙では、大変厳しいものがあると覚悟しています。たまたま、今年の4月、離婚の1カ月後という最悪のタイミングで、私の地元の宇都宮市で市長選挙がありました。しかも町を二分する激戦でした。

結果的に私が支持していた候補が当選して、本当にこれは地獄の仏を見た、という感じでした。そして5月3日に、結婚式を挙げました。実は、このことも選挙区の人にお話をする前に、マスコミに先行して報道されてしまいました。しばらく地元に戻れないかもしれない、と思っていたら、これもまさに神の救いなのですが、「いや、これはむしろいいことだ。船田元は、これまで優等生でおとなしい、世襲議員という印象が強かったけれども、これだけ逆境の中で、自分を貫いた。これは祝うべきではないか」と、会を開いてくれ、支持者の方たちが予想以上に集まっ

てくれました。おかげでその後、私たちは選挙区の会合に呼ばれる機会も増え、支持者の皆様にもろってこあいさつが出来るようになりました。家事もふたりでやれば、早い、楽しい

編集部 畑さんの改選は2年後ですね。立候補されますか？

畑 ちょうど日本の構造改革の時期にあたり、若い自分の考え方や能力が永田町で生かせる好機なので、続けられる限り続けたいと思います。でも、政治は別に政治家のバツジをつけていなくてもできますから、これまで専門分野としてきた、情報化をテーマにベンチャーとして実現させたり、シンクタンクのような形で政策提言に加わったり。使命を果たしていく道は、いろいろと考えられると思います。まあとにかく、これまで同様、すべて天に任せて、与えられた運命を頑張って生きたいと思っています。

編集部 船田さんはどうですか？

船田 政治家の妻という立場だけにいるのでは、息がつまっちゃうんじゃないかと思えます。やりたいことをどんどんやって欲しい。それが政治家であれば、さらに素晴らしいことです。とにかく、興味ある事、好きなことをやっている時が、一番輝いていますから、それを見たいですね。

編集部 畑さんのほうは、どんな時に船田さんを好きだなあ、と思われるんですか？

畑 ……(しばし無言)

船田 あんまりない？

畑 いや、いろいろあります(笑)。やっぱり、家に帰ってきて背広を脱ぐ…。さっきまで、「いい政治家だ」なんて眺めていた人が、短パンとTシャツ姿になって、自分と並んで家事をしている時、ですね。

編集部 家事は一緒にするんですね。

船田 料理は相当作りますよ。いつも似たようなメニューですけど。

畑 トマトを切るの、上手よね。

妻がお料理をしている時にTVを見て寝転んでたり、なんて考えられないんです(笑)。

船田 たまにはそういうのもいいなあ(笑)

畑 っ、人には言うんですが、全然逆なんです。私が頼んで、もうちょっとTV見てたら？って言うても…

船田 うん、でもね、任せておけないちなんですよ。それに、2人でやるほうが断然早い(笑)。

編集部 いい雰囲気ですね(笑)。

畑 ……なんか、しゃべりすぎました。編集部 それが、ふたりのよいところ

船田 これがまたね、災いのもた

んです(笑)。

